

教 育 研 究 業 績 書		
平成 29 年 11 月 15 日		
氏 名 山 北 宣 久		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キー ワー ド	
生命倫理	生命と命のあいだにあるもの	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例 ・アクティブラーニングの取り入れ	平成 20 年 4 月 1 日 ～現在に至る	ヤマザキ学園大学及びヤマザキ動物専門学校における「生命倫理」の講義とその実践的展開としていのちを生きる、いのちを生かしあい、生かされて生きる具体例等を考察させる。
2 作成した教科書、教材 ・レジュメ集の配布	平成 20 年 4 月 1 日 ～現在に至る	「生命倫理」の講義において、テーマ毎に講義概要、レジュメを配布し、各自が書き込みをすることにより 15 回分の冊子が独自に出来あがり理解度を増す仕組みとしている。
3 教育上の能力に関する大学等の評価 ・学生による授業評価アンケートの活用 ・学生による授業評価アンケートの活用	平成 20 年 4 月 1 日 ～現在に至る 平成 27 年 4 月 1 日 ～現在に至る	ヤマザキ学園大学の「生命倫理」の授業に対する学生の授業評価（アンケート）では、いのちへの関心が高まったという意見が多く、「授業に対する全体の満足度」の項目について、多くの学生から「満足」という評価を得ている。 ヤマザキ動物専門学校の「生命倫理」の授業に対する学生の授業評価（アンケート）では、人間関係や物事への関心が高まったという意見が多く、「授業に対する全体の満足度」の項目について、多くの学生から「満足」という評価を得ている。
4 実務の経験を有する者についての特記事項 なし		
5 その他 なし		
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 資格、免許 ・神学修士		東京神学大学

2 特許等 なし		
3 実務の経験を有する者についての特記事項 なし		
4 その他 なし		

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1 福音のタネ・笑いのネタ	単 著	平成12年4月	教文館	愛、いのち、老い、平和など、古くて新しいテーマを楽しく語ったユーモア・エッセイ集で、新鮮な躍動感あふれる話を満載している。好評連載の「信徒の友」「産経新聞」から収録した。 小 B6 判 全 192 頁
2 おもしろキリスト教Q&A77	単 著	平成13年4月	教文館	イースターて何？三位一体って何？カンタンそうで難しいキリスト教の言葉 77 を軽妙なタッチでユーモアたっぷりに解き明かす。聖書の言葉を手掛かりにキリスト教の真理を読み深めるための絶好の書である。 B6 判 全 166 頁
3 心にのこるE話	共 著	平成13年10月	日本キリスト教団出版局	「生まれる」「眠る」「笑う」などといったふうに全部動詞のタイトルで、20 の項目に三人三様にしている。ダイナミックな動的躍動感を狙っている。 本人担当部分：全体の内容を執筆 共著：上林順一郎、 <u>山北宣久</u> 、春名康範 小 B6 判 全 173 頁
4 それいけ伝道—元気の出るエッセイ 100	単 著	平成14年9月	教文館	教会に元気がないと言われていたそんな今こそそれゆけ伝道！読み切り 2 ページ 100 のテーマを楽しく読んでいくうちにジッとしていられなくなるキリストの言葉を収録している。 B6 判 全 210 頁
5 愛の祭典・クリスマスアンソロジー-	単 著	平成15年10月	教文館	イエス生誕のこの日は、人はなにを祈り、どのような思いを寄せてきたのか。内外の哲学者、神学者、文学者、詩人の祈りやメッセージ、古くから語りつがれ、また新たに生まれた詩や物語の数々をまとめた心にしみるクリスマス詩華集としている。 小 B6 判 全 232 頁

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
6 今日は何の日？-キリスト教 365 日-	単 著	平成15年12月	教文館	<p>一年 365 日、一頁に一日ずつ、その日に生まれた人と亡くなった人、キリスト教の主な出来事を揚げ、それぞれの略歴や残した言葉を収めている。日ごとに新たな出会いと味わいの世界へといざなう、キリスト教備忘録としている。</p> <p>B6 判 全 370 頁</p>
7 福音と笑い これぞ福笑い	単 著	平成16年12月	教文館	<p>楽しいときにも、辛いときにも、キリスト教は笑いを忘れない。オチのある笑い、ユーモアのある笑い、「にもかかわらず」の微笑み等、笑いを満載している。</p> <p>小 B6 判 186 頁</p>
8 おもしろキリスト教質問箱	単 著	平成18年2月	教文館	<p>ユーモアたっぷり、駄洒落もたっぷり、おもしろおかしく、ただししっかりとキリスト教の基本を語る「おもしろキリスト教」の第二弾である。見開き 2 頁に質問がひとつずつ。「生命 (いのち) ってナ～ニ？」から始まり、病気、男女、家庭、友情、真理、欲望、孤独、文化、科学、など日常生活に密着した合計 77 の質問に Q & A 形式で答えている。</p> <p>B6 判 全 164 頁</p>
9 天笑人語	単 著	平成26年1月	日本キリスト教団出版局	<p>天の笑いが地に響く。笑いは人生の必須栄養素である。四方八方塞がっていても、天を仰ぐことが残されている。天に響きわたる神の笑いを心に受けて地に共鳴させながら人生を切り拓くことができる。そして、傲慢になる時には頭を垂れることを教えている。</p> <p>四六版 136 頁</p>
10 一笑懸命	単 著	平成26年9月	日本キリスト教団出版局	<p>「信仰によって生かされる！」、「悩み多き時にも」、「めぐりくるクリスマスに」、「小咄あれこそ」によって明るい笑いのあるところに平和な世界がもたらされることを指向するエッセイである。「珍解聖書」では聖書の 90 箇所を取り上げ寸鉄解説している。</p> <p>四六版 134 頁</p>

研 究 業 績 等 に 関 する 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(学術論文) 1 くださいください--真に 求むべきものは何か	単 著	平成17年12月	キリスト教 と諸学	ルカ 15 章は「神の自画像」ともいうべき内容である。つまり、神がどういう方であるかを神ご自身が語り示している箇所がある。 その 11 節以下は、有名な「放蕩息子」の譬え話である。この息子は、父親の財産の放蕩生活の挙句使い果たしてしまった。しかし、父の愛を思い返して家へ還える。そして父の腕の中で我を取り戻す。それは二つの「ください」の言葉の中にあるドラマである。 一つは「わたしが頂くことになっている財産の分け前をください。」(12 節)、今一つは「もう息子と呼ばれる資格はありません。雇人の一人にしてください。」(19 節)、「ください」 give me で我を失い、「ください」 take me で自分を取り戻し、再発見する。 人生はこの二つの「ください」「ください」の分かれ道の中にある。
2 新約聖書における教育ー ディダケーとパイ・ディア をめぐってー (修士論文)	単 著	昭和41年3月	東京神学大 学	新約聖書における教育は、ディダケーとパイ・ディアという二つのギリシャ語の中にある。ディダケーは「教え」と訳されるが、愛に根ざした教えを中心に多様に人生の道における教えを指す。良い教えは人生の指針として教え示すディダケーは教育の基本となる。 しかし、優しく切々と教えるディダケーはパイ・ディアに裏打ちされていなければならない。 パイ・ディアとは「薫陶」「訓戒」を意味する。鞭をもってピシッと鍛える「薫陶」「訓戒」の厳しさがなければならない。パイ・ディアなきディダケーは甘やかしの慣れ合いを生み出しかねない。また、ディダケーなきパイ・ディアは、愛なき理性のみの冷たい人格を生み出しかねない。 このバランスについて考察した論文である。

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(その他)				
「監修」 1 James R. McGraw グランド・ゼロからの祈り	—	平成16年9月	日本キリスト教団出版局	原書名：PRAYERS FROM GROUND ZERO 9.11 テロ直後より、爆心地そばの教会で行われた礼拝の祈りから10編を厳選している。あの惨劇の中での神のみこころは何であったかを問いつつ、心と体に傷を負った人々の癒しを求めている。その後全米を覆った報復を叫ぶ声とは一線を画し、あくまで世界と神に対して心が開かれている。 A5判 全72ページ 監修：山北宣久
「雑誌掲載」 1 聖書の人間像 人は上、神は下--ザアカイ	単 著	平成12年8月	婦人之友社	ルカ福音書19章1～10のエリコの町における徴税人ザアカイの神との出会いによる神と人との関係、人と人との関係の重要性を説いている。 A5判 全264頁
2 聖書 呼びかける言葉 沈黙の期を経て	単 著	平成18年12月	婦人之友社	ルカ福音書1章57～66の洗礼者ヨハネの誕生の際に現れた主の御使（みつかい）の言葉を信じなかったため、父ザカリアの口がきけない状態が割礼まで続くことになる。そこから沈黙の深さ、重さ、そしてやがて口が開かれ、舌がゆるみ神をほめたたえることにより、イスラエルの将来を予言する対称の妙を説いている。 A5判 全282頁
「講演」 1 伝道こそ教団の使命 -伝道に燃える群れの形成を目指して-	—	平成14年3月	第12回日本伝道協議会公開講演（銀座教会会）	教団内部の思想的、神学的対立の中であって、日本キリスト教団そして各個教会の使命を伝道に焦点を当て語る。
2 伝道：合同教会としての教団形成	—	平成16年3月	第14回日本伝道協議会公開講演（東京神学大学）	創立60周年を迎えた日本キリスト教団は、37の教派が合同して形成された合同教団である。その原点、初心たる伝道の使命に還ることを語る。

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
3 教育の根軸にあるもの	—	平成23年1月	新年教職員始業礼拝 (横須賀学院高等学校)	多感な中高生にとって、心魂・精神に食い込むメッセージとその展開をめぐって語る。
4 青雲の志を抱きて	—	平成24年4月	青山学院17号館献堂式 (青山学院大学)	青山学院17号館献堂式に臨み、人のあるべき姿を浮き彫りにすることについて語る。
5 本多庸一の思想	—	平成24年5月	ジョン・ウェスレー回心記念日礼拝 (青山学院大学)	青山学院の日本人初代院長 本多庸一の生涯とキリスト教思想について講演した。
6 人生あれこれ (再掲)	—	平成24年5月	サンデーモーニング (日野商工会議所)	サンデーモーニングの講師として、人生の意味と重みをめぐって講演した。
7 悲しみは十字架と復活につながる	—	平成23年12月	東日本大震災3.11復興支援超教派一致祈禱会	2011年のクリスマス、多くの悲惨が東北の地にある中で(国難の悲しみは)イエス・キリストの十字架と復活につながると説いた。
8 地の塩である諸君	—	平成24年5月	清里自然教室 (清里)	清里にて横須賀学院中学二年生に修善会のテーマ「地の塩」である諸君について講演した。
9 慈しみそして哀れみ	—	平成24年5月	東洋英和女学院中高部母の会 (東洋英和女学院)	中高生の母親として慈しみ、そして哀れみが大切。それは水平方向からではなく垂直の関係つまり神からもたらされることを哀歌3.22~23から説いた。
10 光は燭台の上に	—	平成24年6月	国会祈禱会 (国会衆議院会館)	議員及び秘書たちに、上に立つことは光を遠くに及ぼすことゆえ、私心で内なるものを濁らせてはならぬことを説いた。
11 時をよく用いなさい	—	平成24年6月	創立98周年記念講演 (彰栄保育専門学校)	エフェソ5.15~16により、与えられている時を買戻し、有効に用いる術を教えた。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
12 人が生きる 人を生かす	—	平成24年6月	キリスト教学校教育同盟総会 (明治学院大学)	101校のキリスト教主義学校の責任者に人生とは人が生きると読むとともに人を生かすとも読み、教育的使命を果たすよう奨励した。
13 静も動も	—	平成24年6月	第85回私立小学校東京地区教員研修会 (青山学院講堂)	staticにdynamicに子どものところに迫り、躍動性と落ち着きをもった児童を養成する必要性を訴えた。
14 キリスト教主義学校に仕えるとは	—	平成17年6月	創立120周年記念式典 (弘前学院)	弘前学院創立120周年にあたって、原点への立ち返りを促すことについて語った。
15 岩の上に土台を	—	平成24年7月	青山学院神奈川西湘支部総会 (小田原二宮会館)	校友会の存在の根拠と意義をマタイ7:24~27の言葉から説き起こし、自覚を新たにさせることについて語った。
16 人生の深さと広さ	—	平成24年7月	九州学院中高生全体集会 (九州学院講堂)	文武両道を掲げる学院の敬天愛人なる者は、各自が人生の深さと広さを真理によって探究すべきを訴えた。
17 one for all, all for one	—	平成24年7月	学院全体礼拝 (熊本ルーテル学院)	熊本ルーテル学院の生徒に個と全体の関係、バランスについて、探究すべきことを説いた。
18 永遠の今	—	平成24年10月	青森東奥義塾創立140周年記念式典 (青森東奥義塾)	多くの先人たちに囲まれて140周年記念を祝っている私たちは、次の世代に責任を持つ。永遠を想いつつ今をしたたかに生きなくてはならぬものを引き継がす必要性について語った。
19 small but great	—	平成24年10月	JNAC代表者会 (ロサンジェルス教会)	アメリカロサンジェルスにおける日米宣教協力会にて両国の戦争を挟んで罪責と和解の関係を改めて語った。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
20 「Boys be ambitious！」	—	平成24年11月	北海教区教育講演会 (札幌中央教会)	札幌中央教会でクラーク博士の青年たちに馬上から残した ambitious の意味はなんだったのか。僅か九ヶ月の滞日生活で彼は何を感じたのかについて語った。
21 神の平和があなたを守る	—	平成24年11月	学校礼拝 (彰栄リハビリテーション専門学校)	リハビリとは身体機能の回復だけにとどまらない内面の平安が与えられなければ人間回復につなげられないのでは？と説いた。
22 生死学の大切さ	—	平成24年12月	八王子倫理セミナー (八王子ホテルニューグランド)	毎年この時期に早朝講和を担当している。今回は、生の中に死を想い、死を想うことにより生をつかみ取る意義を語った。
23 クリスマスの光と影	—	平成24年12月	クリスマス会 (万座温泉日進館)	万座温泉ホテルのフロアショーにて毎年クリスマスの意味について宿泊客に説いた。
24 平和をつくりだす使命	—	平成25年1月	ルーテル協議会発足講演 (ルーテル会館)	trouble maker が多くいる中、peace maker として生きる方法とその展開について講演した。
25 閉塞状況を打破する	—	平成25年1月	全国信徒会議 (日光研修館)	キリスト教徒 1%を低迷する中、高齢少子化の現実を打破して展望を開く道とは？について語った。
26 共生と共働	—	平成25年3月	橋本倫理法人会 (相急土地 2F)	橋本倫理法人会にて、共に労し、共に生きるための覚悟と知恵をめぐることについて語った。
27 現代における教育者の責任	—	平成25年3月	第 26 回教育座談会 (上智大学)	パネラーの一人として、主題の「現代における教育者の責任」について発題した。
28 人生の土台構築	—	平成25年8月	清里サマーカレッジ (青山学院大学)	学生として青年として人生の礎をいかに築き、何を将来の展望とするか三回にわたって講演した。

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
29 良き土壤に種を播く	—	平成25年8月	キリスト教学校教育同盟事務職員研修会 (東山荘)	生徒たちの心に届くように神に仕える姿勢について語った。
30 聖書に立脚した教育	—	平成25年9月	東北学院大学教職員夏季修養会 (宮城蔵王ロイヤルホテル)	主題に従って三回講演を行った。キリスト教教育は詮じ詰めれば聖書の真理を捉え伝えることであることを語った。
31 米山梅吉と現代青年	—	平成25年10月	上期例会 (渋谷セルリアンタワー)	世田谷南ロータリークラブにて創始者米山梅吉の生涯と現代青年の在り方を対比して語った。
32 つきまとう二つの ism	—	平成25年10月	静岡英和教育講演 (静岡英和大学)	生涯つきまとう Egoism と Cynicism について触れ、この二つの克服こそ最大の課題と論じた。
33 隣人愛と人類愛	—	平成25年10月	社会事業同盟総会 (浜松聖隷会館)	遠くへの愛は成り立つけれど、近くへの愛は成り立たぬと言われることに対抗できるか、論じた。
34 祈りのある生活	—	平成25年10月	祈祷セミナー (淀橋教会)	「正しい祈り方 10 カ条」「聞き届けられる祈り十カ条」について講演した。
35 地の塩 世の光	—	平成25年11月	青山学院校友会 120 周年記念講演 (青山学院)	青山学院のスクールモットーである「地の塩 世の光」に基づき校友会の存在意義と使命について語った。
36 わたしたちのいのちの歌	—	平成26年1月	東日本大震災被災者を悼む集い (岩手県宮古市)	宮古市における集会に三度講和をした。「生き残ったゆえに始まる歌。生きているのだから終わらない歌。生きていたいから続く歌…」について語った。
37 Go in peace. Be strong.	—	平成26年3月	静岡英和女学院大学教職員研修会 静岡英和女学院大学)	卒業生を送り出す季節にあって「平和の道を往く。そして強くあれ。」との message を送る大切さを説いた。

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
38 喜びと忍耐をもって	—	平成26年5月	メソジスト主義学校協議会 (広島女学院)	世界 18ヶ国からの代表によるメソジスト主義学校協議会で「喜びと忍耐をもって」教育にあたる大切さ(ローマ 12.12)を講演。その他、パネラーも務めた。
39 あなたは価値高く尊い	—	平成26年6月	西南地区幼稚園連盟の教師会 (青山学院幼稚園)	旧約聖書イザヤ書 43.4~5 の言葉に基づき、園児一人ひとり神の目からかけがえない人格持つ存在であるとの気持ちをもって臨むことを強調した。
40 今、この時代の中で保育を考える	—	平成26年7月	キリスト教保育連盟北陸部会 (北陸学院)	ナンバーワンより only one の実践。九十九匹を残しても一匹の羊を探し求めていく(ルカ 15.1-7) 姿勢の持続。そこに保育の原点があることを講じた。
41 しもべとなる	—	平成26年9月	長崎地区社会福祉施設従事者研修 (活水学院)	人みな上に立ちたがる中で、僕となって使える貴さは人間をつくる。マタイ 20.25 - 28 の聖書言葉に基づく servant ministry を説いた。
42 現代における教育のかなめ	—	平成26年10月	内田学園創立 35 周年記念式典 (内田学園)	幼稚園と小学校を経営する学園は、少数教育を厚木の地で貫き、地域貢献もしてきた。自然との一体化も特徴となっている点など、現代的教育意味がある旨を説いた。
43 伝道は愛	—	平成26年11月	特別伝道集会 (広島県尾道)	伝道は地道さと忍耐が大切だが、決定的なのは相手に対する愛である。広島尾道の地にへばりつくように伝道する教会に激励を与えた。
44 人生のポイント	—	平成26年11月	宗教特別伝道講演会 (九州学院)	中学生、高校生と聖書に立脚した人生の見方。生きる意味をめぐって具体的に語った。
45 ここに神の愛が	—	平成26年12月	静岡英和同窓会 (静岡英和女学院)	新約聖書第一ヨハネ 4.7 - 12 に基づき静岡英和女学院の 120 年間にわたる歴史の意味、重みについて語った。

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
46 人が生きる人生 人を生かす人生	—	平成27年1月	始業講演 (山野美容専門学校)	人が思いのままに生きるだけでは人生は半分にすぎぬ。人を生かすことがあってこそその意味は全うされる。技術を取得すると共に人を美しくする豊かさを身に付けることについて説いた。
47 教会教育の鍵	—	平成27年1月	三重教会学校教師研修会 (阿漕教会)	重要さを増す「教会教育」とは子どもたちに教会を中心に聖書信仰を伝えることである。祈りを込めて教会全体が次世代教育に当たることについて説いた。
48 復活信仰を生きる	—	平成27年5月	沖縄教会協議会合同研修会 (与那原教会)	死に向かって生きる人生は暗い。人は死から命へ、終わりから復活へと歩むのだ。この信仰に徹すれば、虚無の淵を超えて強かに生きられることについて語った。
49 人が生きる 人を生かすこれぞ人生	—	平成27年6月	全国教会青年同盟セミナー (軽井沢恵みシャレー)	Live for others これが合言葉となるべきものである。自分のために生きる人生は閉塞感を拭い切れない。恵みを素直に受け、分かち合う道へ進むことについて語った。
50 一粒の麦	—	平成27年7月	三浦文学講演 (三浦綾子文学館)	一粒の麦はそのままだが、死ねば多くの実を結ぶ。小説家三浦綾子生涯病に悩まされながら、自己に死に多くの実を結び、今なお沢山の人の心の中で生きていることについて語った。
51 災害犠牲を越えて	—	平成27年10月	伊豆大島災害一周年記念 (大島元村教会)	大島元村、波浮両教会も関係者も含めて犠牲者を出した。一周年の追悼とともに犠牲者の分も生きて自覚的に生きていくことが本当の悼むことに通じることについて語った。
52 栄神益人	—	平成27年11月	彰栄学園創立119周年記念 (彰栄学園)	彰栄学園が保育そして後にはリハビリテーションの専門学校を設立し、多くの働き手、奉仕者を排出していることは尊い。「栄神益人」神には栄え、人には益する業をますます展開することについて語った。

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
53 伝道に燃える信徒群	—	平成27年11月	山梨分区信徒大会 (山梨英和大学)	マルコ 16.19 - 20、使徒言行録 13.1 - 3 をテキストとして伝染的な影響力をもった人物になることの大切さを強調して語った。
54 伝道こそ命	—	平成28年3月	東京教区信徒講演会 (銀座教会)	教会は伝道に命をかけて今日まで形成されている。伝道が困難な時代に原点回帰をはかることについて語った。
55 美とは何か	—	平成28年4月	山野美容専門学校 1・2 年生始業講演 (山野美容専門学校)	美容を専門職とするべく励み行く青年諸君に美とは何かを講じた。外面外見だけにとらわれがちな傾向性に問題提起をした。
56 仕えるということ	—	平成28年4月	千葉県富津情緒障害児短期治療施設開所式 (望みの門かずさみなと学園)	施設で仕えるにはどういうことが必要かについて講演した。
57 敬神愛人	—	平成28年6月	横須賀学院 66 周年記念講演 (横須賀学院)	スクールモットーの「敬神愛人」に則して神を敬う垂直の線と人を愛する水平の線の原点を現代社会にたとえ語った。
58 子供のように	—	平成28年6月	キ保連代表者会 (保育部会東京支部)	幼子の特質と大人が子供のように素質つまり素直さ純粹さ信頼を持たねばならぬことを講じた。
59 三 D を排し、3D に生きる	—	平成28年8月	青年大会 (天城山荘)	Discover Develop Dedicate の 3D を生かし、三 D どうせでもだつてを捨て去ることが大切であることを講演した。
60 礼拝を守るあなたが守られる	—	平成28年10月	沼津市静岡車静分区婦人部 (沼津教会)	礼拝を捧げる意味。worship and service のちがいと共通点について、何に向かって人は生きるのかについて語った。
61 教会婦人の使命	—	平成28年10月	東支区婦人部修善会 (聖和教会)	教会婦人、女性でなくてはなしえない働き、使命について自覚を取り戻しそれを生かすことについて語った。

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
62 沖縄における教会の使命	—	平成28年11月	与那原教会 創立 100 周年記念講演 (与那原教会)	緊張性に満ち、基地問題はじめ課題山積みの沖縄にあつて教会が果たす使命は何なのか説いた。
63 平和の重み	—	平成29年2月	高知分区 2.11 集会 (高知教会)	「信教の自由を守る日」(建国記念日)にあつて国の右傾化、憲法改正等の動きに抗して断固平和を貫く覚悟を確かにすべきことを訴えた。
64 尊い生きた石	—	平成29年2月	国会祈祷会 (参議院会館)	国会議員でキリスト者である方を支え励ます大切さを実成しつつ、第一ペトロ 23-5 の言葉を味わった。トランプ大統領は壁を作ることに執心しているが、我々は橋をわたす者だ。尊い生きた石としてについて語った。
65 時代に生きる日本人論	—	平成29年3月	明治学院 OB へボン会 (学士会館)	日本人としての identity を持ちつつ、へボン博士たちがそうであったように、global な姿勢を抱いて熱く生きる人になり open heart を持続することについて語った。
66 試練を超えて	—	平成29年7月	大好きふるさと！みんなの岩泉 (道の駅いわいずみふれあいランド)	岩手県野田村岩泉町を襲った集中豪雨、水害から一年。復興の道を辿る人々に「試練と共にそれに耐えられるよう逃れる道をも備えて下さる方」に固着するよう訴えた。
67 宗教改革 500 年を憶えて	—	平成29年8月	全国教会青年同盟修養善会 (軽井沢恵みシャレー)	青年たちがマルチン・ルターによる宗教改革 500 年の意味を現代において味わうことは大きい。三大原理を中心に講じた。
68 「人生あれこれ」と「青年をめぐる」	—	平成29年10月	山野美容専門学校始業式講演 (山野美容専門学校)	わたしたちが人生に対してどのような姿勢でいるべきかや青年とはどのような人たちを目指し、どのような問題を抱えているかなどを講じた。